

みずほCustomer Desk Report 2016/09/23号(As of 2016/09/21)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	101.79
					GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	101.61	1.1154	113.34	0.9792	1.2981	0.7554
SYD-NY High	102.79	1.1197	114.36	0.9814	1.3046	0.7631
SYD-NY Low	100.30	1.1123	112.08	0.9721	1.2946	0.7535
NY 5:00 PM	100.31	1.1186	112.25	0.9735	1.3032	0.7622
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		10.03/10.53	Δ25RR		0.995	Yen Call Over

		債券市場	日本2年債	-0.2230	4.2bp	
NY DOW	18,293.70		日本10年債	-0.0270	3.6bp	
NASDAQ	5,295.18		米国2年債	0.7744	0.0bp	
S&P	2,163.12		米国5年債	1.1870	▲1.3bp	
日経平均	16,807.62		米国10年債	1.6511	▲3.8bp	
TOPIX	1,352.67		独10年債	0.0020	2.0bp	
シカゴ日経先物	16,555.00		英10年債	0.8060	-	
ロンドンFT	6,834.77		豪10年債	2.1280	1.3bp	
DAX	10,436.49		為替市況	USD/CNH	6.6699	▲0.0121
ハンセン指数	23,669.90			ドルインデックス	95.66	▲0.36
上海総合	3,025.87		商品市況	CRB指数	184.860	1.89
USDJPY 3M Vo	11.85	▲0.72%		NY金	1,331.400	13.20
USDJPY 6M Vo	11.16	▲0.48%		WTI	45.340	1.29
EURJPY 3M Vo	11.86	▲0.23%		Dubai Spot	43.66	1.19
EURJPY 6M Vo	11.64	▲0.08%				

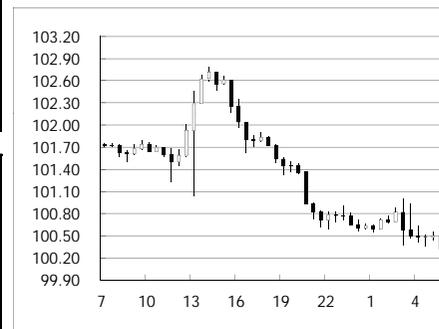
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月21日	08:50	日 貿易収支	8月 -¥18.7B	¥191.0B
	08:50	日 輸出/輸入(前年比)	8月 -9.6%/-17.3%	-4.7%/-16.6%
	-	日 日銀金融政策決定会合、総括的検証結果発表	-	-
	15:30	日 黒田日銀総裁、会見	-	-
9月22日	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	9/16週分	-
	03:00	米 FOMC政策金利	0.25%-0.50%	0.25%-0.50%
	03:30	米 イエレンFRB議長、会見	-	-
	06:00	NZ RBNZオフィシャルキャッシュレートの	-	2.00%

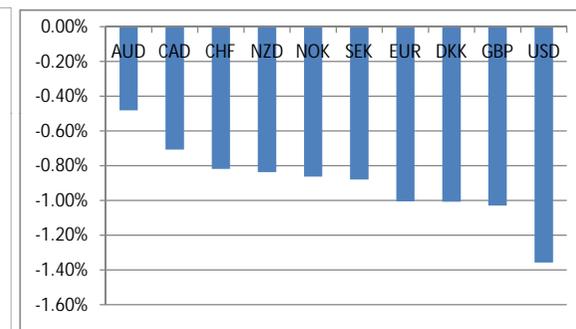
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月22日	15:45	仏 製造業信頼感指数	9月 101	101
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	8月 0.15	0.27
	21:30	米 新規失業保険申請件数	9/17週分 261K	260K
	22:00	欧 ドラギECB総裁、講演	-	-
	23:00	欧 消費者信頼感・速報値	9月 -8.2	-8.5
	23:00	米 中古住宅販売件数	8月 5.45M	5.39M
	23:00	米 先行指数	8月 0.0%	0.5%

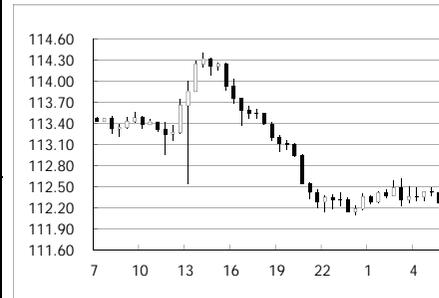
【ドル円相場】



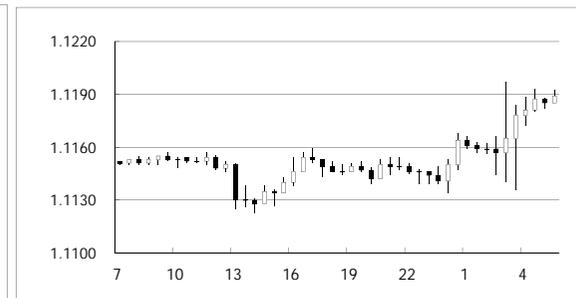
【対円騰落率(日次)】



【ユーロ円相場】



【ユーロドル相場】



東京
東京時間のドル円は、101.61レベルでオープン、正午までは日銀金融政策決定会合の結果発表を控えて様子見ムードが続く。正午を過ぎても結果発表がしばらく出なかったことで、市場参加者は待ちぼうけ状態となり、ようやく発表された結果内容も、材料感を見出しにくい内容となったことで、為替市場は思惑が交錯し、他のマーケット動向を伺う状況となる。その後、ヘッドラインで「マイナス金利幅を-0.1%に維持」との記事が伝わると、金融機関のマイナス金利拡大による収益悪化懸念が後退し、日経平均は金融セクターを中心に大きく上昇。また、「10年金利がゼロになるように国債を買い入れ」との内容をうけて、JGB10年債利回りは0%近辺まで大きく上昇するが、ドル円の反応は限定的となる。引けにかけては日経平均の堅調推移につれてじりじりと上げ幅を拡大し、高値102.79をつけた後、結局102.60レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)

ロンドン
本日ロンドン市場ドル円は下落した。102.60レベルでオープン、アジア時間に決定された日銀金融政策の効果に対して懐疑的な見方が広がり、黒田日銀総裁の会見後もドル売り買いが優勢となった。発表を控えたFOMCの市場予想のコンセンサスが利上げ見送りであった事もドル円相場への重しとなり、100.91レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは1.2973レベルでオープン後、方向感に欠ける値動きとなった。英国立統計局が発表した8月の公的部門準借入額は105億4600万ポンドと前年同期の114億7000万ポンドより減少するも市場の反応は限定的で、1.2996レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)

ニューヨーク
NY市場のドル円は100.91レベルでオープン。朝方はFOMC金融政策決定会合を控え、ドル円は100.70付近での方向感にかけられる推移が続く。午後発表されたFOMC結果は、政策金利は据え置きとなるが、3名のFOMCメンバーが金利据え置きに反対したこともあり、ドル買いが優勢となり101.02まで上昇。その後行われたイエレン議長の会見では「今回はさらなる経済指標を検証するため待つことにした」と年内利上げの是非について特段言及しなかったことから、米10債利回りの低下を受けてドル円も一時100.30まで下落し、100.31レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは1.1150レベルでNYオープン。FOMC声明文、並びにドットチャートの下方修正を受けたドル売りに1.1197まで急伸。その後、FOMCメンバー3名が利上げ派に加わったことからドル買いが強まり1.1136まで下落するが、イエレン議長のハド派な発言を受けてユーロドルはじり高の推移に1.1192まで上昇し、1.1186レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

